

令和7年11月20日(木)



今週に入ってぐっと冷え込むようになりました。学校周辺の雑木林は紅葉が進んでいます。グラウンドのイチョウもてっぺんから黄色く染まり始めました。ミカンの木は、今年も大きな実をつけ黄色く色づき始めています。いよいよ冬本番が近づいてきました。



さて、本市だけでなく近隣の市町においても、インフルエンザが猛威をふるっており、学級閉鎖や学校閉鎖を行っているそうです。本校も合唱祭前後は学級閉鎖を行いました。今は小康状態です。しかし、油断は禁物です。今期のインフルエンザは、とにかく感染力が強いので、手洗い・うがい等、基本的な感染予防策を一人一人が心がけていきましょう。

3年生の掲示板がリニューアルされました。今回は、ことわざ・格言です。一度は耳にしたり、学んだことがある有名なものばかりです。一部分を隠して、クイズ形式になっているところが面白いですね。ことわざや格言は、国や文化・言語を越えて私たちの生活の中に存在し、脈々と受け継がれています。



人生における真実や戒め・教訓となる簡潔な言葉であり、不易といっているでしょう。3年生は、進路選択の時期を前にして、ことわざ・格言から影響を受けることも多いのではないのでしょうか。ちなみに、校長室には、「徳は孤ならず、必ず隣あり」という書が掛かっています。これは、論語の格言であり、「徳の高い人には必ず応援者が現れる」という意味です。この書は、私の先輩校長からいただいたものですが、いつも自分への戒めとしています。

1年生の家庭科の授業は、バランスの良い献立を考えることに取り組んでいました。バランスの良い献立とは、自分にとって必要な栄養素を満たしているということです。生徒たちは、6つの基礎食品群から偏りなく食品を選んでいきます。また、食べ過ぎはいけませんので、それぞれの食品群の摂取量にも気を付ける必要があります。つまり、カロリー計算が求められるのです。タブレットでデジタル教科書にアクセスすると、カロリー計算を簡単に行うことができるワークシートを利用できますが、生徒の中には表計算ソフトで一からフォーマットを作成しているチャレンジャーもいました。令和の日本型教育を支える柱の一つに「個別最適な学び」があります。これは、子供の状況に応じた学習の取り組み方の多様性を保証するものですが、今回のように表計算ソフトで自分に合ったフォーマットを作成することは、まさに個別最適な学びであり、また学びの個性化とも言えます。

